

富士教育訓練センターの取り組み

FUJI CONSTRUCTION TRAINING CENTER



職業訓練法人全国建設産業教育訓練協会
富士教育訓練センター





富士山とセンター



富士教育訓練センター全景

○性 格

① 国土交通省、厚生労働省連携の教育訓練施設

国土交通省 業種横断的な拠点的教育訓練施設

厚生労働省 広域的な職業訓練校

② 建設産業全体の協力、支援

③ 建設産業全般の教育訓練の実施

④ 全国規模

団体会員（33団体）

日本躯体	日機協	全鉄筋	全圧連(圧接)
日左連	N G S	日板協	日塗装
ジェイシフ	全室協	全管連	全地連
全国建産連	全防協	日夕煉	全標協
全夕協	PC工事業協会	日鳶連	日造協
橋建協	鹿島協連	橋塗協	日装連
日空衛	全圧連(圧送)	J A B E C	日運協
日設連	トンネル専門協	消防工協	日本型枠
木住協			

施設の概要

至 河口湖



至 富士宮



独立行政法人 土木研究所
朝霧環境材料試験場

国土交通省
朝霧防災備蓄基地

- ・位置 静岡県富士宮市根原492-8
(富士山の西麓。標高900m。)
- ・面積 敷地：約 51000㎡、建物：約 10000㎡
実習施設：屋内約 1500㎡、屋外約 25000㎡
- ・施設保有者 (一財)建設業振興基金
- ・運営主体 職業訓練法人 全国建設産業教育訓練協会

教育訓練のねらい

富士教育訓練センターは……

『**業界のニーズ**』・『**即戦力**』・『**安全管理**』を重視した教育訓練を
追求し『**現場で仕事ができる**』技術者・技能者をつくる。

業界のニーズ

(オーダーメイド)

即戦力

(就職予備校)

方針

安全管理

(習慣化)



業界のニーズ (オーダーメイド)

- ・ 事前の調査
 - ① 『時期』・『期間』・『内容』の確認
 - ② 忙しくない時期に実施
 - ③ 夜間、土曜日、祝日も実施
 - ④ 『ニーズ』に基づく、カリキュラムの編成
- ・ 訓練期間中は規定のカリキュラム以外の補習・補講も実施
(CAD教室、パソコン教室、推進工法、漢字検定等)
- ・ 修了後のフォローアップ
 - ① 派遣企業訪問による、教育訓練効果の確認
 - ② 訓練期間中の観察結果による企業との懇談

厳しい環境下で『多様化するニーズ』に対応し
『企業』と『個人』を『支援』する

即 戦 力

(就職予備校)

新入社員には……

- ① 『全寮制』による『団体生活』で社会人教育の実施
- ② 基礎的な技術・技能の教育訓練実施
- ③ 入職時必要な『資格』の取得

中堅社員以上には……

- ① 多能化の促進及び『即成果』への対応
- ② 『技術・技能』及び『管理能力』の向上
- ③ 作業主任者資格等の取得

『社会性の醸成』『技術技能の向上』
『資格取得』

安全管理

(習慣化)

毎日の朝礼において

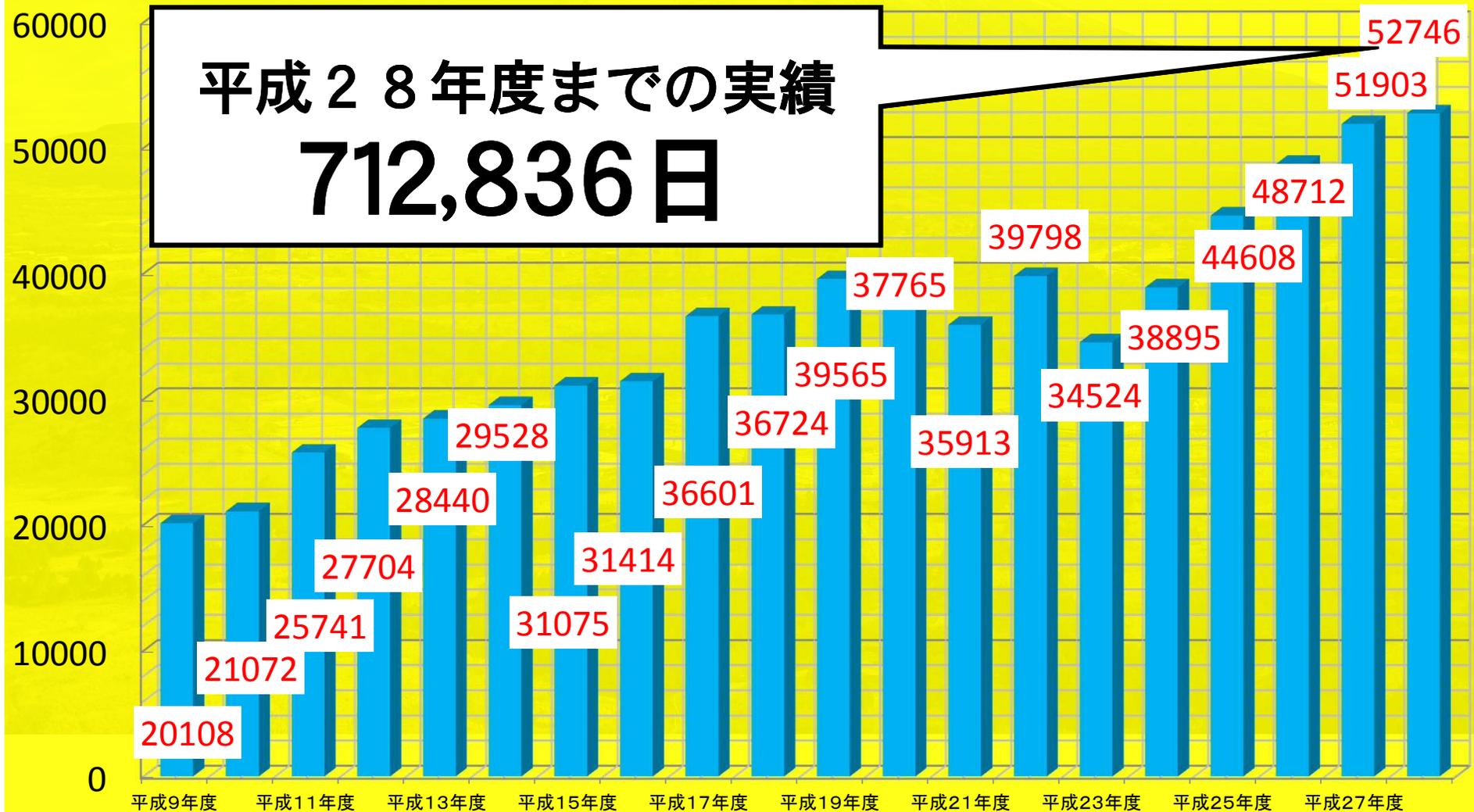
『**服装点検**・**指差呼称**・**挨拶訓練**』の実施

実技訓練において

- ① 『**危険予知訓練**』の実施
- ② 作業毎の『**安全確認**』の実施

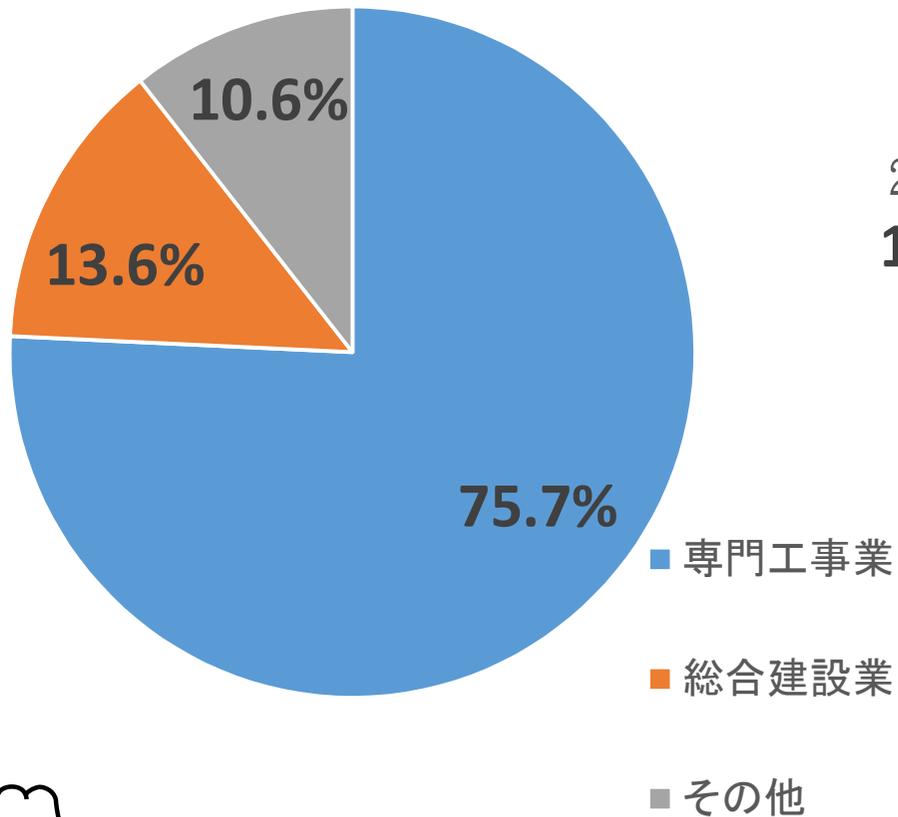
『**実技**』を重視した教育訓練により
身体でマスターし『**習慣化**』を図る

教育訓練人日数の推移

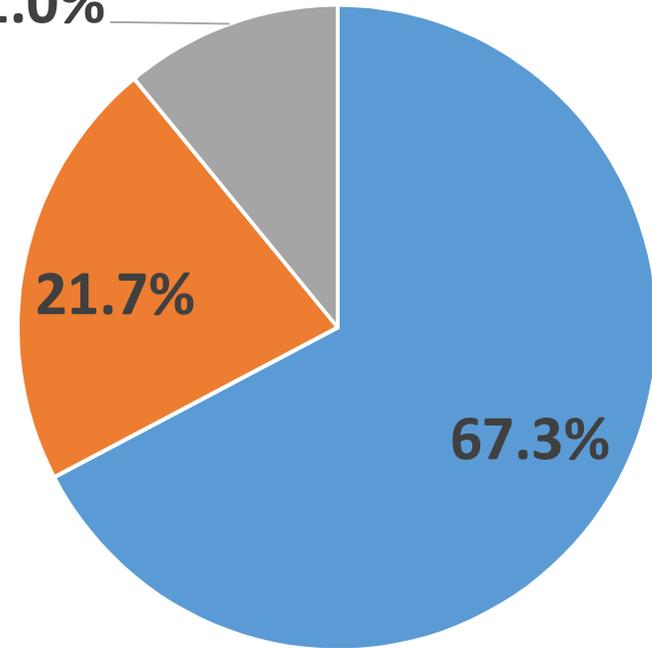


受講生構成比率

28年度教育訓練派遣元（人）比率

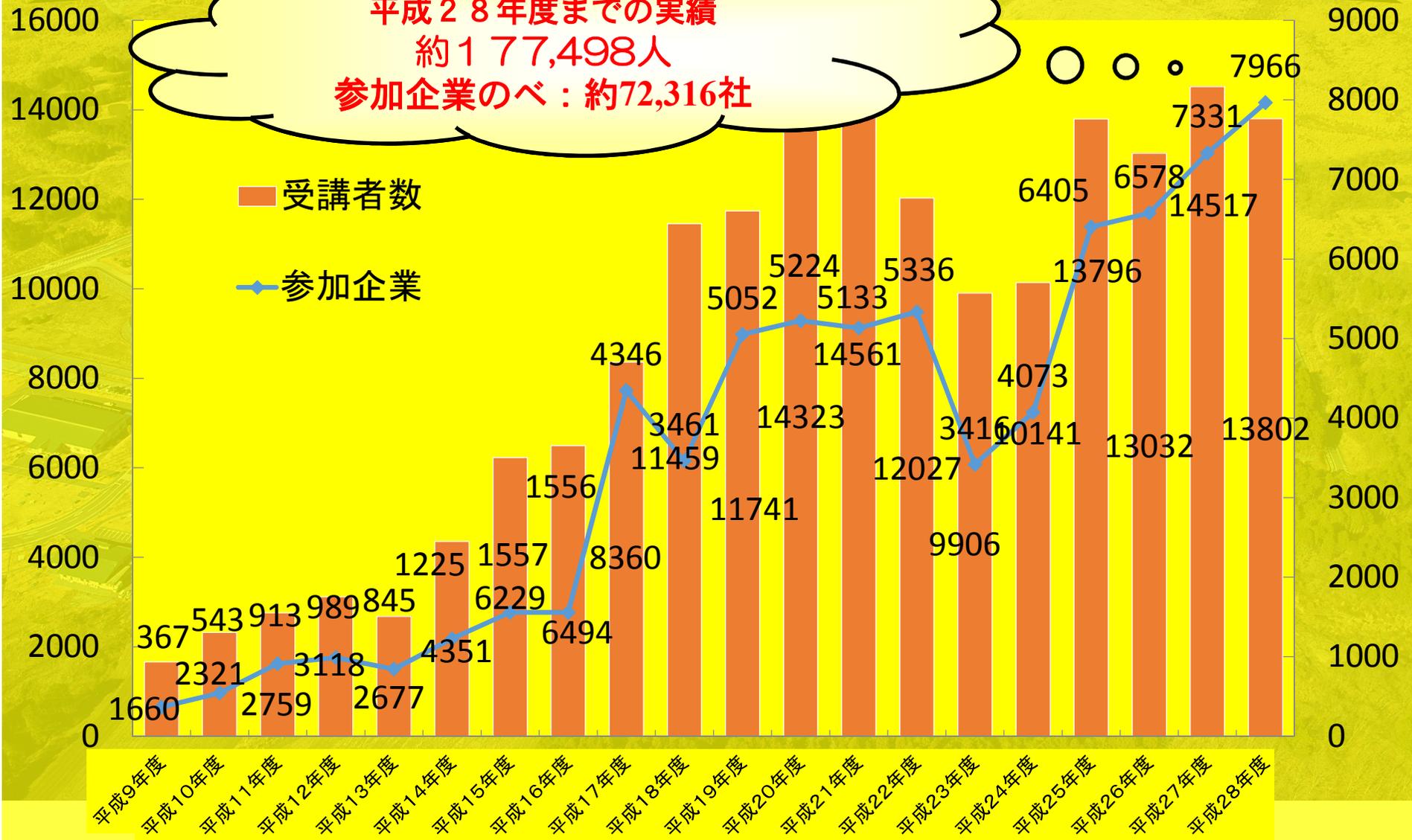


28年度教育訓練派遣元（人日）比率
11.0%



受講者数の推移

平成28年度までの実績
約177,498人
参加企業のべ：約72,316社

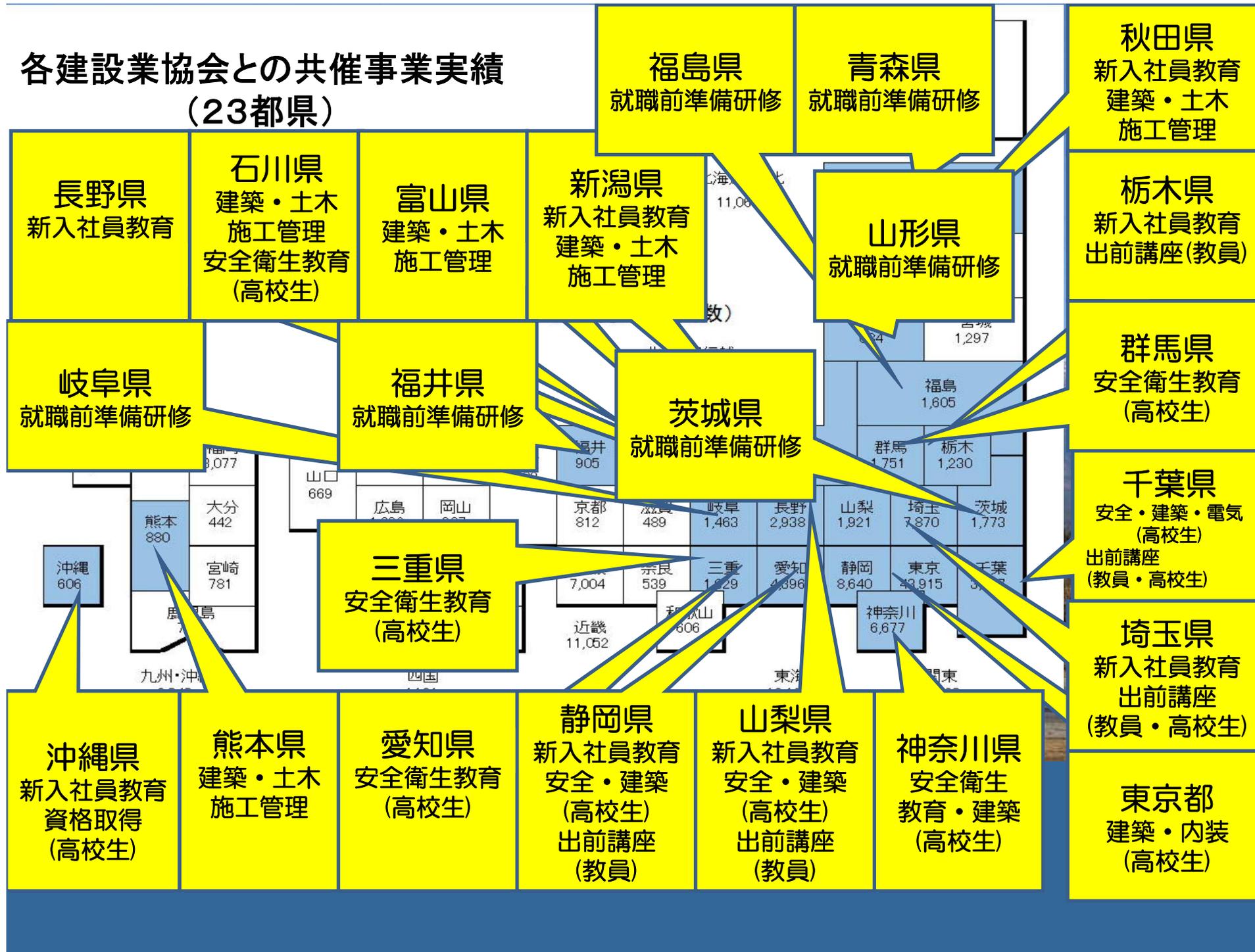


コース受講者数の累計

	コース数	受講人数	参加企業数	教育訓練人日数
平成18年度まで	2,106	49,428	15,802	288,407
平成19年度	392	11,741	5,052	39,565
平成20年度	451	14,323	5,224	37,765
平成21年度	484	14,561	5,133	35,913
平成22年度	449	12,027	5,336	39,798
平成23年度	374	9,906	3,416	34,524
平成24年度	415	10,141	4,073	38,895
平成25年度	420	13,796	6,405	44,608
平成26年度	382	13,256	6,578	48,712
平成27年度	471	14,517	7,331	51,903
平成28年度	370	13,802	7,966	52,746
合 計	6,314	177,498	72,316	712,836

国 内	174,917
外国人	2,581
合 計	177,498

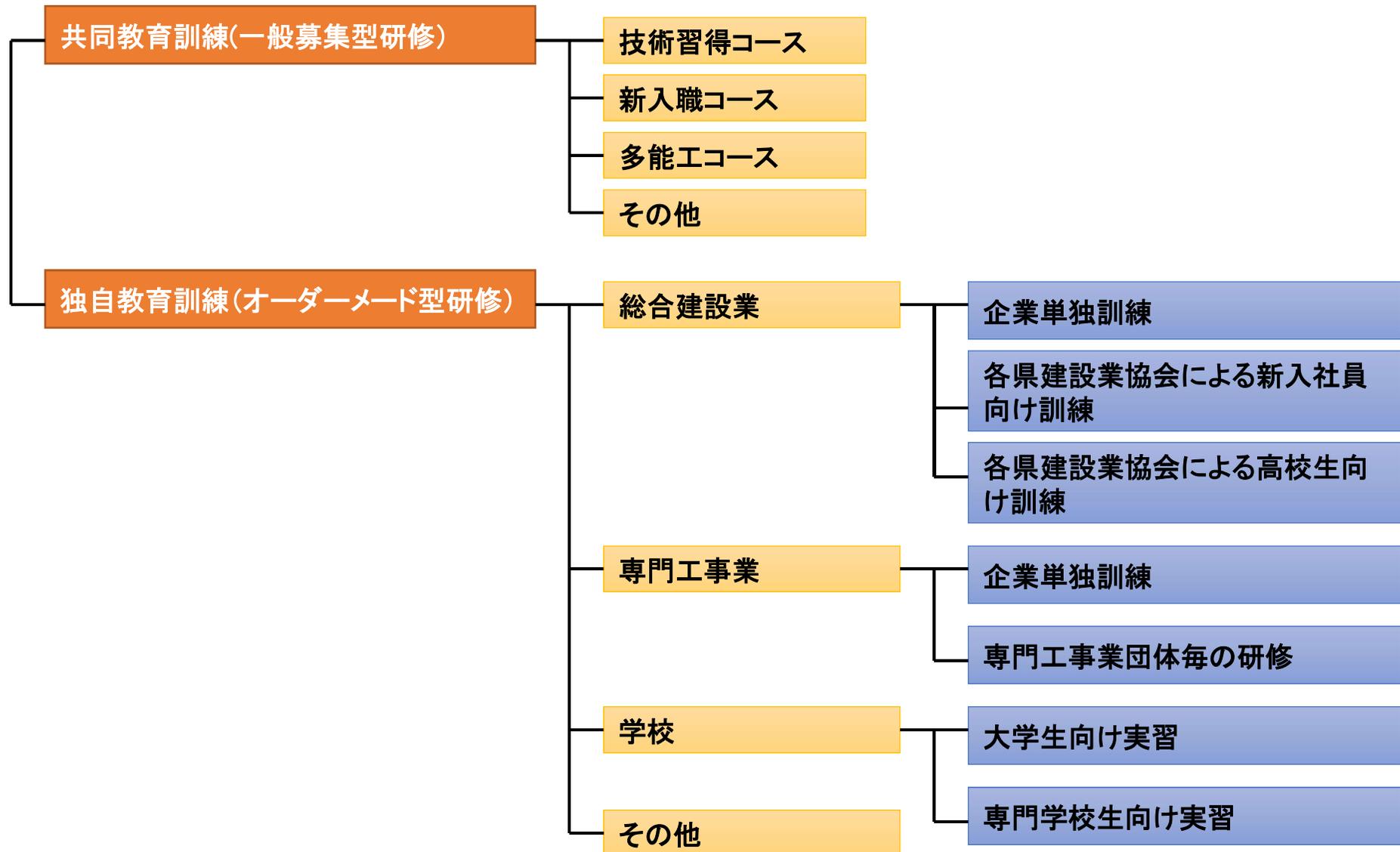
各建設業協会との共催事業実績 (23都県)



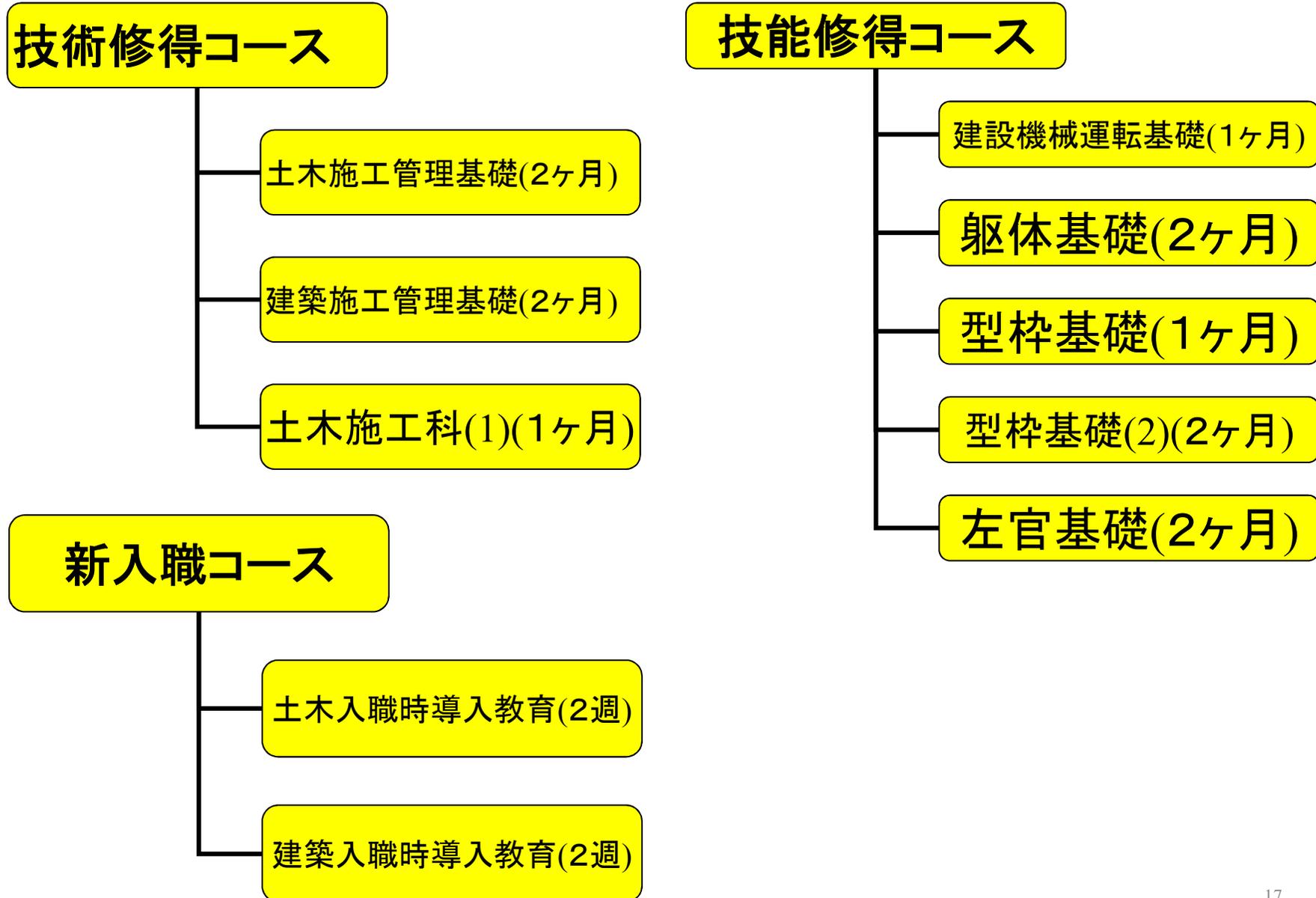
富士教育訓練センターの 教育訓練内容



富士教育訓練センターの訓練体系



共同教育訓練(一般募集型研修)<28年度実績>



技能者対象研修



土木施工管理基礎 (2ヶ月)



型枠基礎 (1ヶ月)



建設機械運転基礎 (1ヶ月)



鉄筋基礎 (3週)



(2ヶ月)

技能者対象研修



左官施工管理中級 (3週)

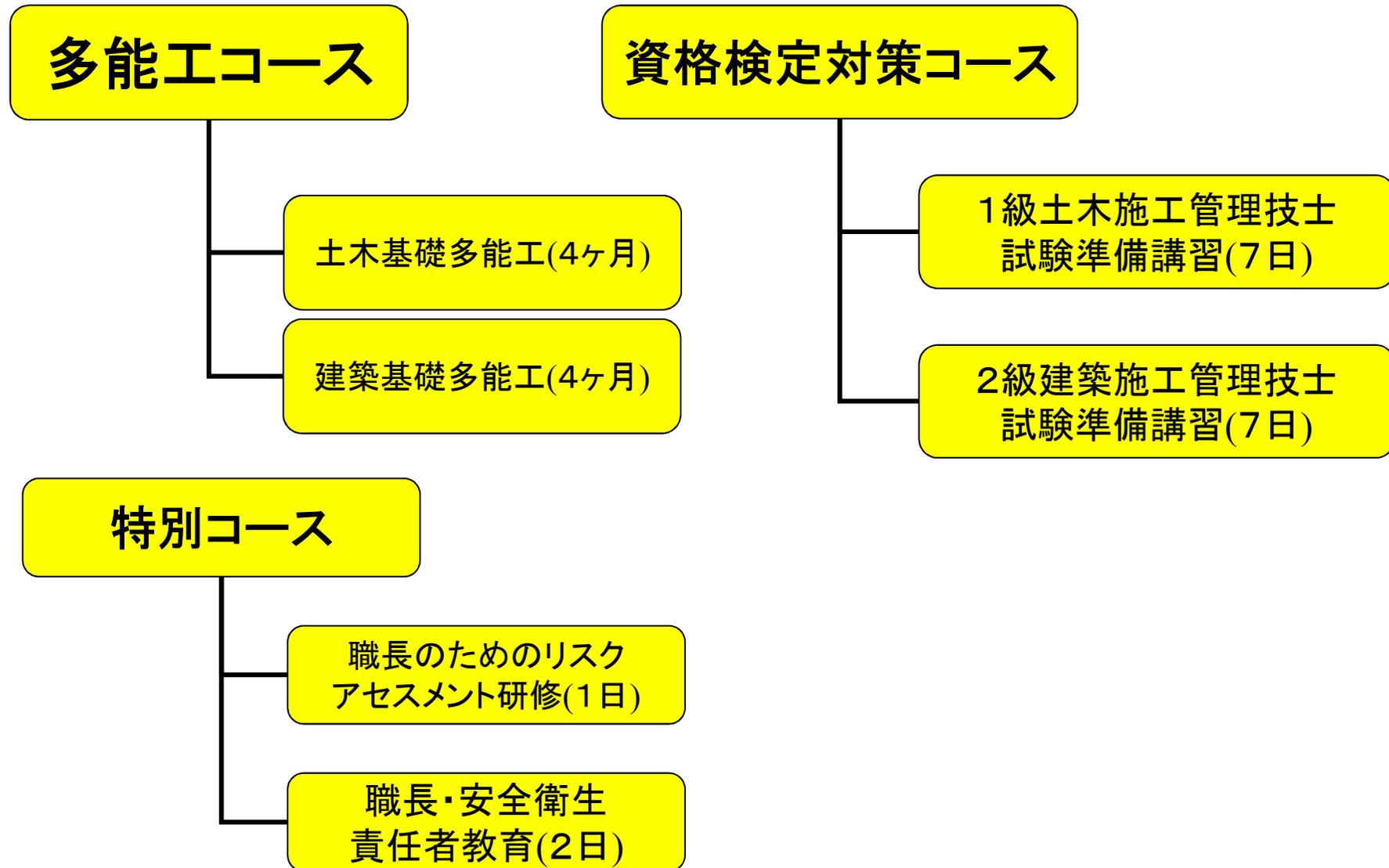


型枠階段施工(1週)

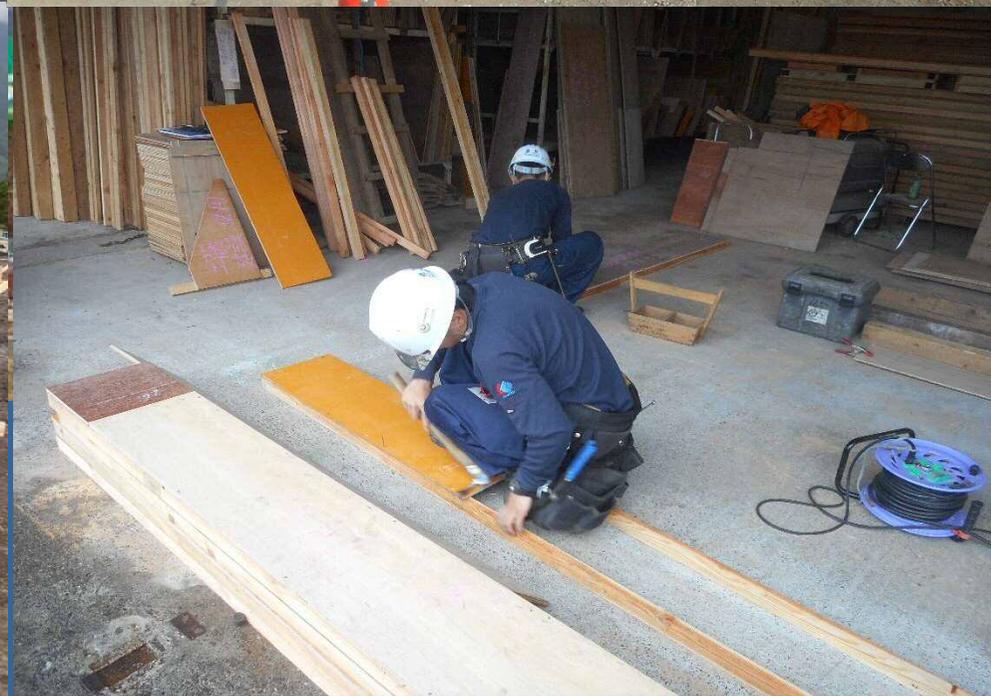


内装施工多能工(2ヶ月)

共同教育訓練(一般募集型研修)<28年度実績>



多能工対象研修







工業高等学校生徒
工業高等学校教諭

専門学校生

短大生

大学生

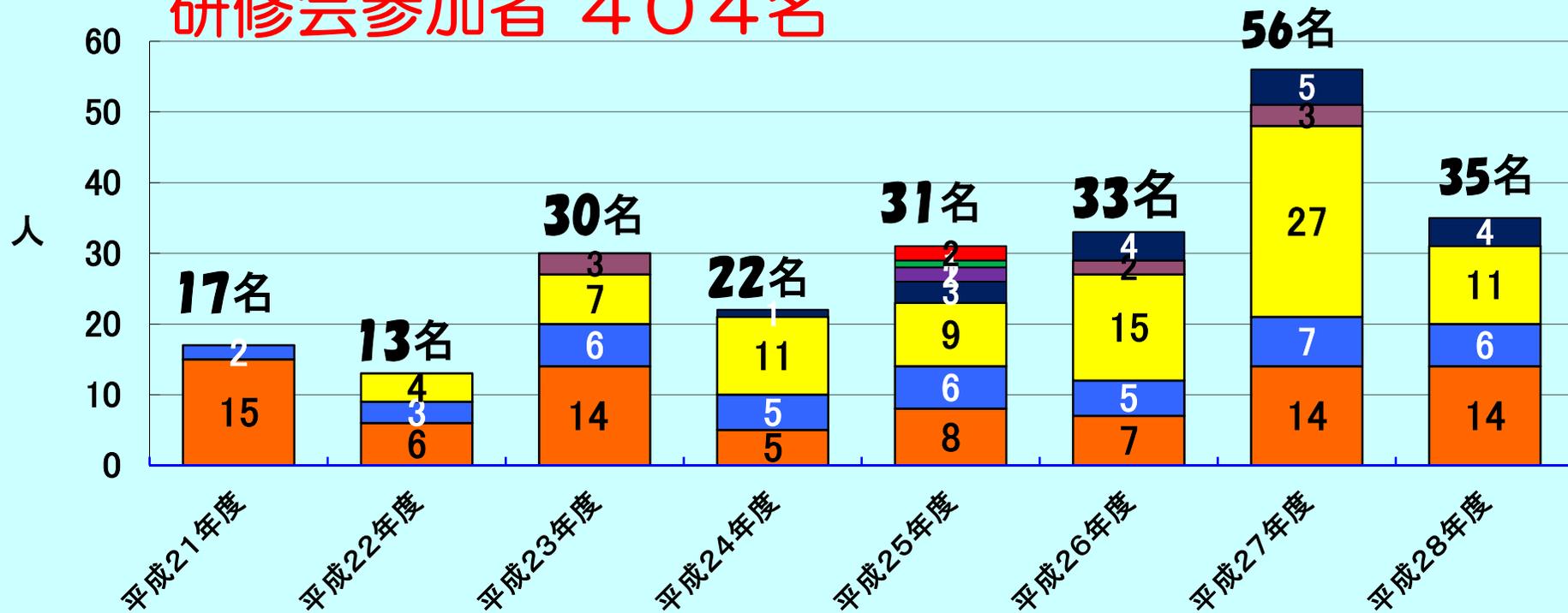
工業高等学校出前講座
の実績



大学生の技術研修

建築施工管理実習の受講者の推移

研修会参加者 404名



東洋大学

ものづくり大学

名城大学

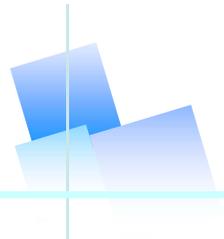
芝浦工業大学

立命館大学

東京理科大学

足利工業大学

早稲田大学

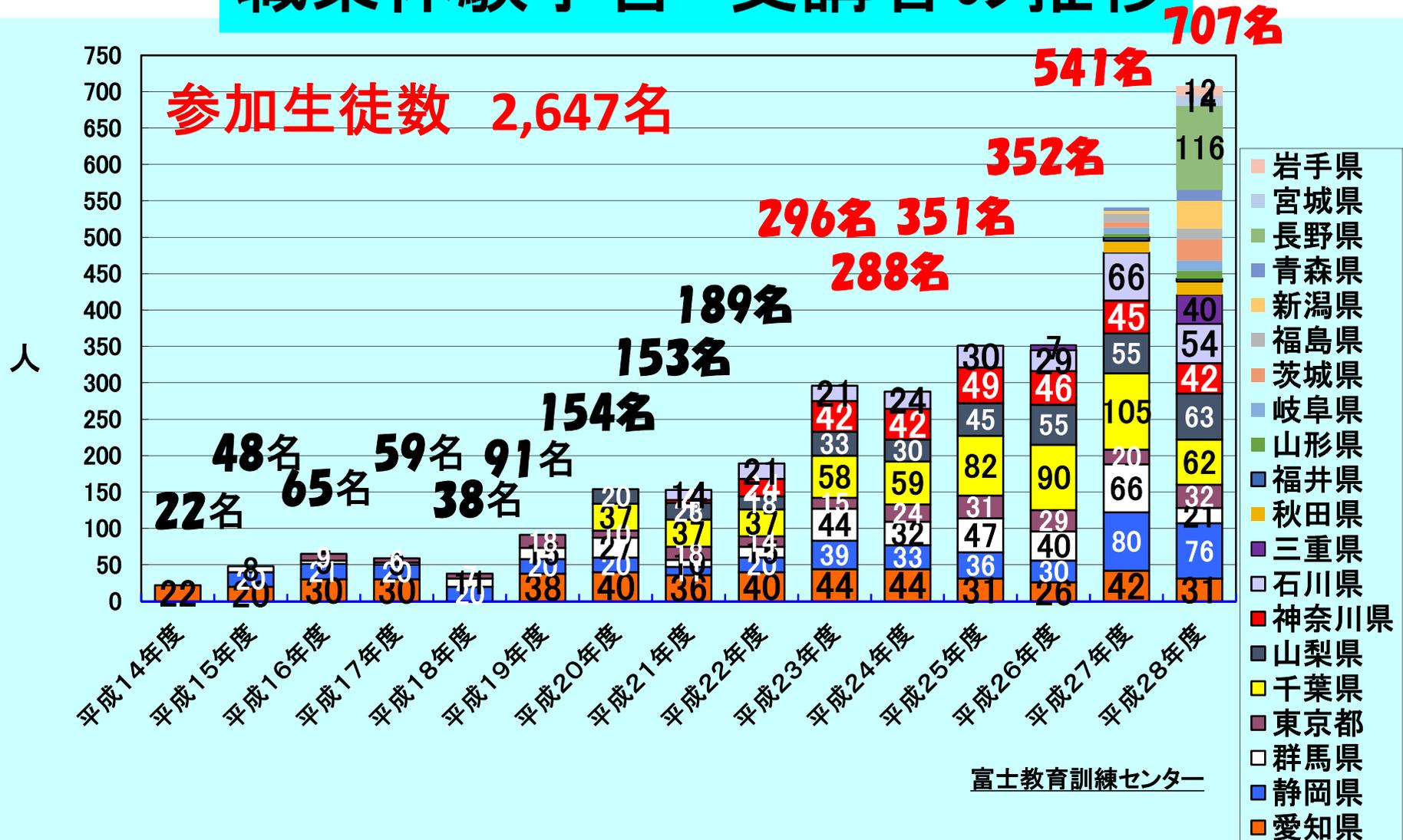


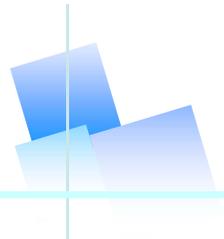
FUJI CONSTRUCTION TRAINING CENTER



工業高校生の技能体験学習

職業体験学習 受講者の推移



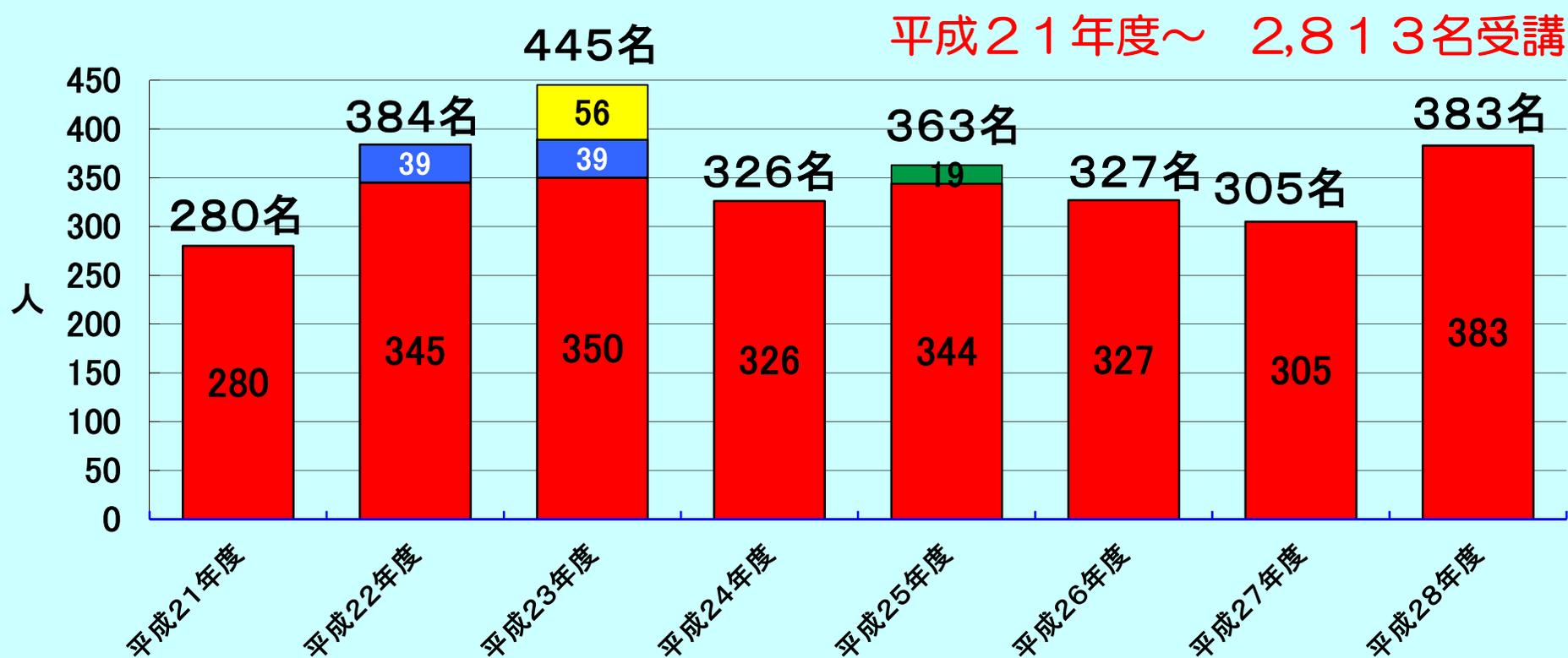


FUJI CONSTRUCTION TRAINING CENTER

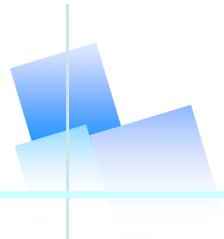


工業高校への出張講座

安全衛生教育等受講者の推移

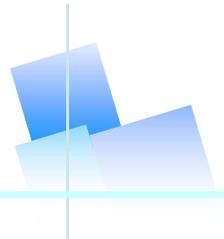


■埼玉県 高校生 ■神奈川県 高校生 ■東京都 高校生 ■沖縄県 高校生



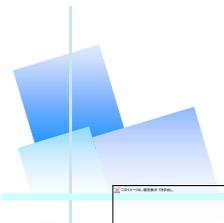
FUJI CONSTRUCTION TRAINING CENTER





FUJI CONSTRUCTION TRAINING CENTER



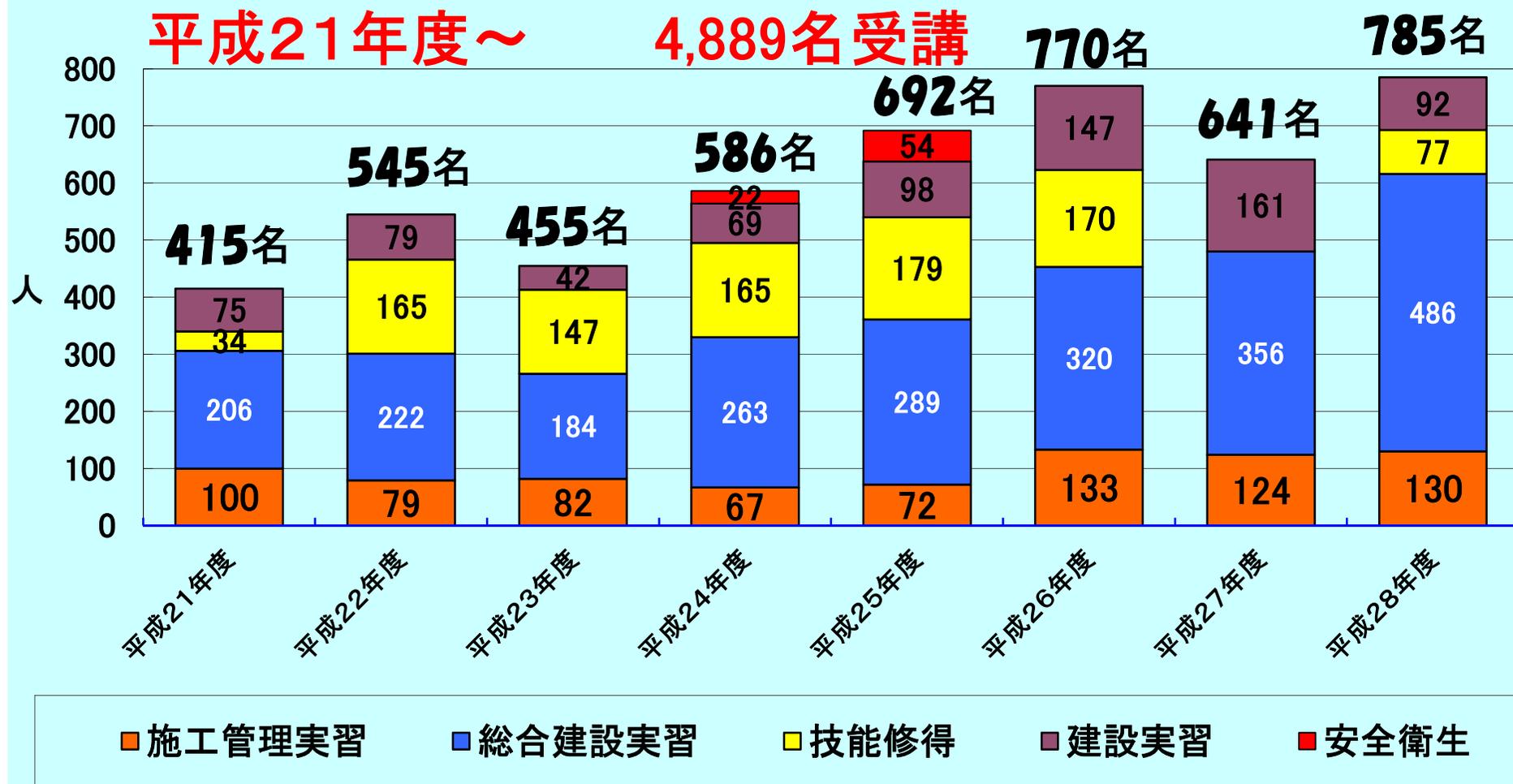


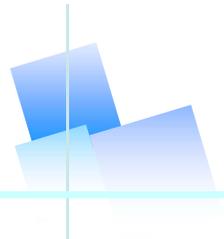
FUJI CONSTRUCTION TRAINING CENTER



短大・専門学校生の技能・技術研修

職業体験等の受講者の推移

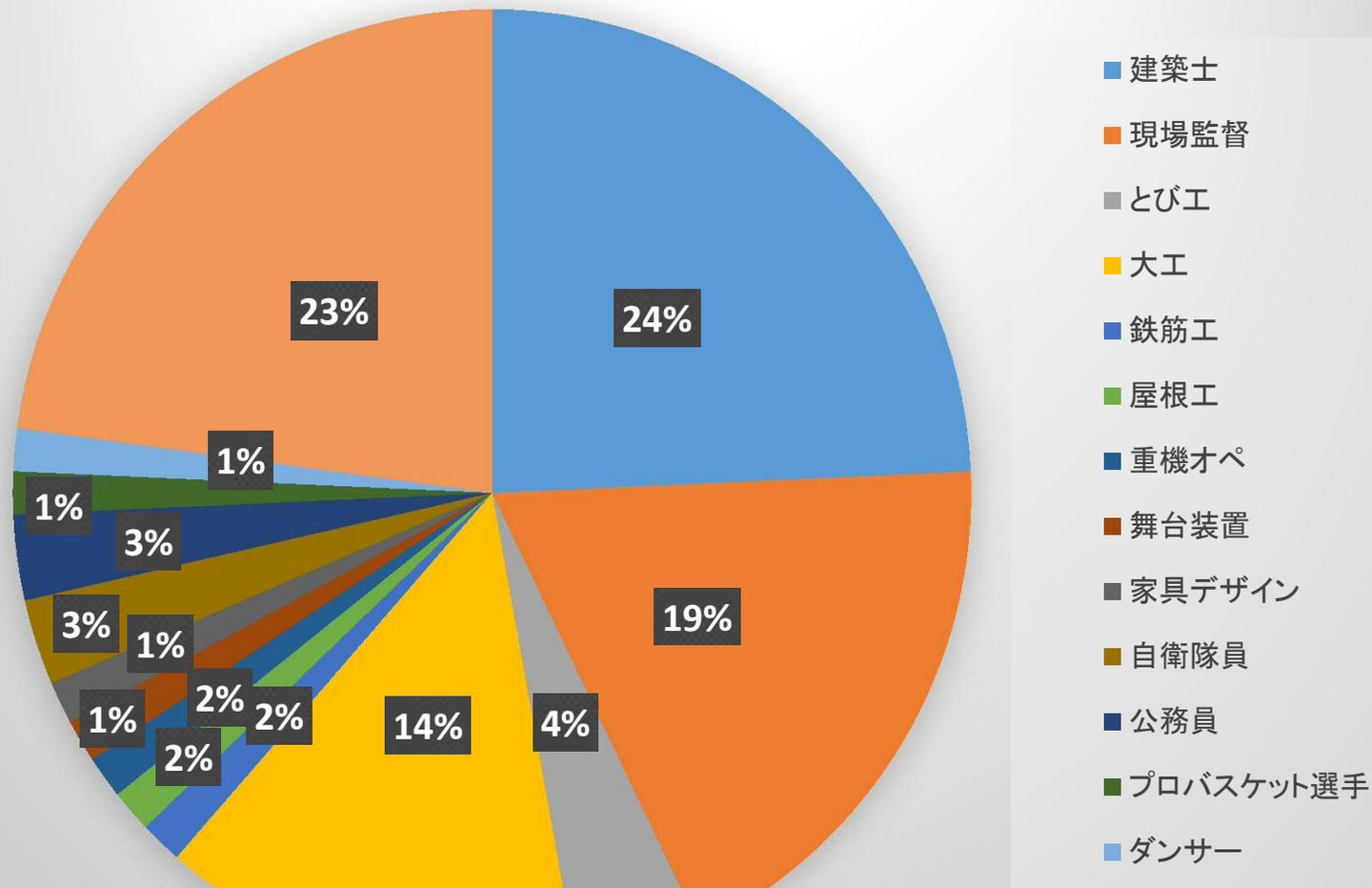




FUJI CONSTRUCTION TRAINING CENTER



高校1. 2年生の職業希望



平成29年アンケート調査(職業体験学習)より

今後の取組

① 教育訓練の充実

最近の人材不足、防災、減災等に対応するための「業界ニーズ」は、教育訓練カリキュラムの拡充を求めている。訓練センターは、より広範な業界ニーズに対応したカリキュラムの開発と、広範なニーズに対応できる優れた講師陣の配置に努め、教育訓練実績の拡大を図り、中核センターとしての役割を追求したい。

今後の取組

② 関係機関との連携強化

訓練センターは、広域的な教育訓練を実施している「三田建設技能センター」との連携・協力のもと、各地の教育訓練施設、団体、企業等と連携し、建設産業界の教育訓練体系構築の一翼を担い、中核センターとしての役割を追求したい。

今後の取組

③ 施設の整備

施設整備に関しては、最大限の自助努力を前提として、その上で、今後の建設産業を支える担い手確保・育成のための象徴的取組の一環として必要なご支援も頂き、早期に建て替えを行うこととする。



建設人材の確保・育成における取り組み

FUJI CONSTRUCTION TRAINING CENTER



ご清聴ありがとうございました。

